

日本雑草学会 第 62 回大会 プログラム

1. 会期

2023 年 3 月 24 日（金）～ 26 日（日）

2. 会場

龍谷大学瀬田キャンパス 8 号館（〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5）

3. 日程

3 月 24 日（金）

代議員総会

若手の会（エクスカーション，鳥丸半島・草津市立水生植物公園みずの森方面）

3 月 25 日（土）

一般講演・ポスター発表，各種委員会

特別講演 1. ヨシ群落と人の共生

「早春の琵琶湖畔の植物たち～雑草学会若手の会エクスカーションから～」

東 建介・井原 希・岩本 啓己（雑草学会若手の会）

「琵琶湖のヨシ群落の保全」 寺田 剛史（滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課）

「ヨシ群落との共生が生物多様性を創る」 沖 陽子（岡山県立大学）

会員総会・学会賞授賞式

学会賞受賞者講演

業績賞

受賞者：下野 嘉子（京都大学 農学研究科）

業績名：外来雑草の侵入経路と分布拡大に関する研究

受賞者講演座長：黒川 俊二

奨励賞

受賞者：浅見 秀則（農研機構 西日本農業研究センター）

業績名：温暖地の大豆作における帰化アサガオ類の総合的防除技術に関する研究

受賞者講演座長：橘 雅明

奨励賞

受賞者：野村 康之（龍谷大学 食と農の総合研究所）

業績名：チガヤの生態型間 F₁ 雑種の開花期シフトと集団遺伝構造

受賞者講演座長：下野 嘉子

3月26日(日)

一般講演・ポスター発表, 各種委員会

協賛セミナー

「食料安定供給における作物保護の重要性」廣岡 卓 (JCPA 農業工業会)

特別講演2.

「光応答性結晶で作成するバイオメテリック表面」内田 欣吾 (龍谷大学先端理工学部)

ミニシンポジウム

「技術士(農業部門・植物保護)を知ろう!2023」

オーガナイザー: 山田晋 (東京農業大学 農学部)

内野彰 (農研機構 中日本農業研究センター)

4. 会場案内

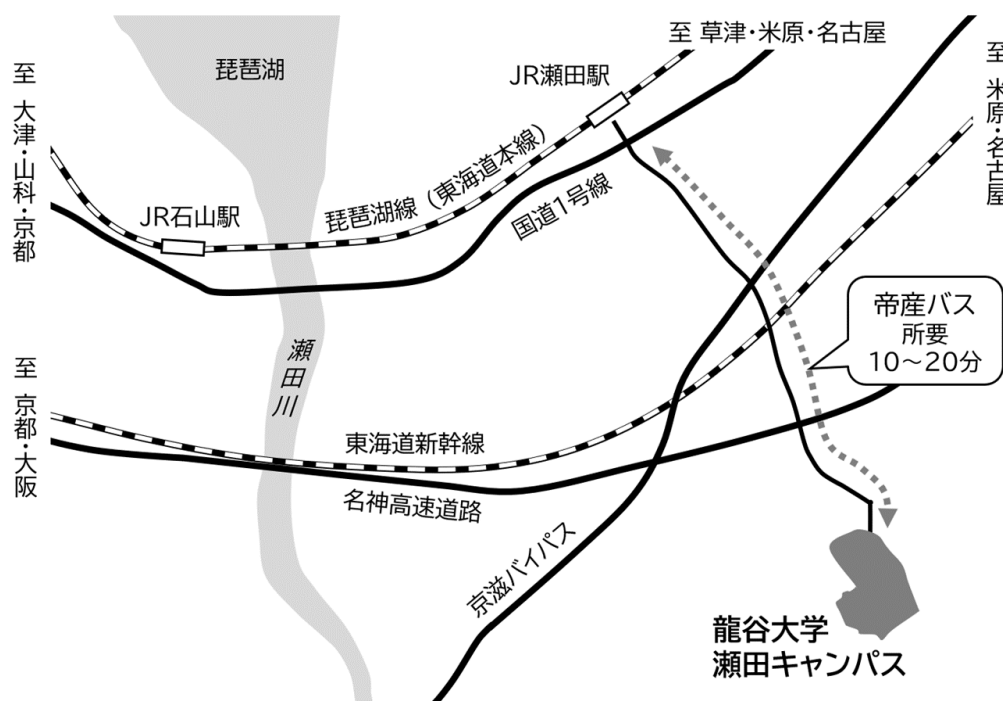
〈会場アクセス〉

JR琵琶湖線「瀬田」駅下車, 南口の帝産バス③のりばより帝産バス乗車, 「龍谷大学」下車 (バス所要時間は約10分ですが, 夕方の渋滞時は20分程度要することがあります)。

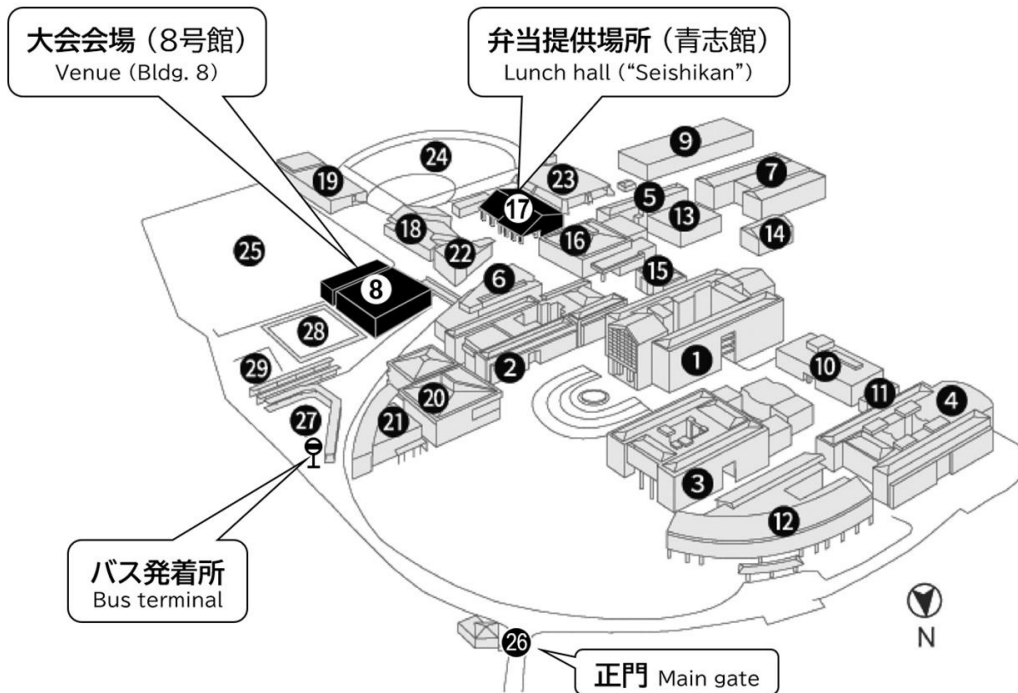
※ JR瀬田駅に快速・新快速・特急は停車しませんが, 快速の快速区間外による停車は多くあります。JRの時刻表等をご確認ください。

※ 帝産バスのダイヤは休校日ダイヤとなり, 便数が減ります。ただし朝・夕の増便の可能性があるので, 詳しくは会場掲示版または大会ウェブサイトにてご確認ください。

※ 帝産バスは現在, ICカードによる支払いができません。あらかじめ小銭をご用意ください (片道220円)。

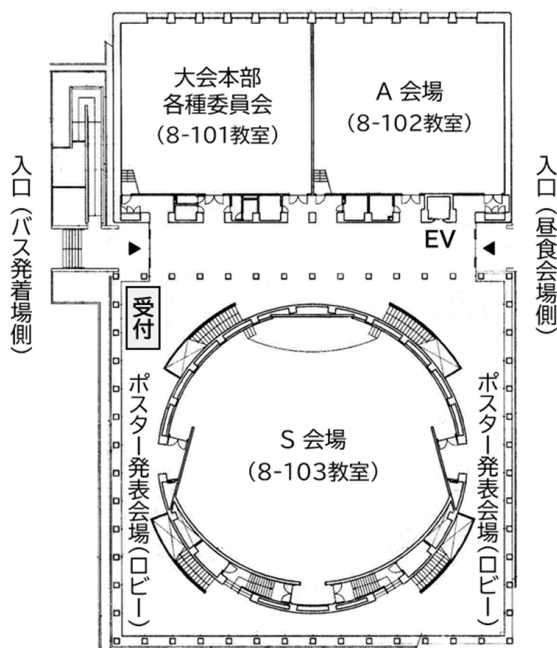


〈キャンパス内案内図〉



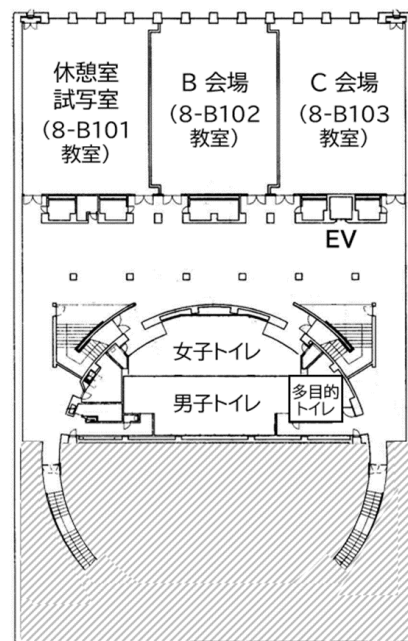
- ①1号館 ②2号館 ③3号館 ④4号館 ⑤5号館 ⑥6号館 ⑦7号館 ⑧8号館 ⑨9号館 ⑩実験棟
 ⑪第二実験棟 ⑫RECホール ⑬HRC棟 ⑭瑞光館 ⑮樹心館 ⑯体育館 ⑰青志館 ⑱青雲館
 ⑲青朋館 ⑳図書館 ㉑智光館 ㉒学生交流会館 ㉓瀬田ドーム ㉔野球場 ㉕多目的グラウンド
 ㉖正門 ㉗バス停 ㉘テニスコート ㉙駐車場(※一般参加者はご利用いただけません)

8号館 1階



(1階にはトイレはありません)

8号館 B1階



第 62 回大会プログラム (概要版)

3月25日(土)	時間	A会場 (8-102 教室)	B会場 (8-B102 教室)	C会場 (8-B103 教室)	S会場 (8-103 教室)	ポスター会場 (ロビー)	
	9:00	受付 (龍谷大学瀬田キャンパス8号館ロビー)					
	10:00 ~ 11:00	一般講演 4題	一般講演 4題	一般講演 4題	閉場	ポスター掲示	
		休憩 (5分)					ポスター公開
	11:05 ~ 12:05	一般講演 4題	一般講演 3題	一般講演 4題	閉場		
	12:05 ~ 13:15	昼休み (1時間10分) 各種委員会			閉場		
	13:15 ~ 14:15	閉場				コアタイム	
		休憩・移動 (10分)					ポスター公開
	14:25 ~ 15:35	閉場			特別講演1: ヨシ群落と 人の共生		
		休憩 (10分)					
15:45 ~ 16:20	閉場			会員総会 学会賞授賞式			
16:20 ~ 17:30	閉場			受賞者講演			

3月26日(日)	時間	A会場 (8-102 教室)	B会場 (8-B102 教室)	C会場 (8-B103 教室)	S会場 (8-103 教室)	ポスター会場 (ロビー)	
	8:30	受付 (龍谷大学瀬田キャンパス8号館ロビー)					
	9:30 ~ 10:30	一般講演 4題	一般講演 4題	一般講演 4題	閉場	ポスター公開	
		休憩 (5分)					
	10:35 ~ 11:20	一般講演 3題	一般講演 3題	一般講演 3題	閉場		
		休憩・移動 (10分)					ポスター撤去
	11:30 ~ 12:30	閉場			JCPA 農業工業会 協賛セミナー		
	12:30 ~ 13:30	昼休み (1時間) 各種委員会			閉場		
	13:30 ~ 14:30	閉場			特別講演2: バイオミメ ティック表面		
		休憩 (10分)					
14:40 ~ 16:10 終了	閉場			ミニシンポ 技術士を知ろう!			

ミニシンポジウム・一般講演プログラム（詳細版）

※発表者に○を付しています。

※講演番号の下に*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象（若手による発表）です。

3月25日（土）							
龍谷大学瀬田キャンパス8号館ロビー 受付							
A会場（8-102教室）		座長	B会場（8-B102教室）		座長	C会場（8-B103教室）	
10:00	新規飼料用とうもろこし用除草剤トルピラレート・ニコスルフロン水和剤に関する研究（第2報） 一除草効果変動一 ○福田 将太, 佐竹 良和, 菅沼 丈人, 佐野 真喜子（石原産業株式会社）	赤澤 昌弘 （公財）日本植物調節剤研究協会	16	秋田県沿岸部の水稲作におけるカズノコグサ (<i>Beckmannia syzigachne</i> (Steud.) Fernald) の発生状況調査 ○三浦 恒子 ¹ , 佐々木 麻衣子 ¹ , 加藤 雅也 ² , 小笠原 泉 ² （ ¹ 秋田県農業試験場, ² 秋田県秋田地域振興局農林部）	露崎 浩 （秋田県立大学）	30	雑草イネにおける種子休眠性の多様性とゲノム構成 ○今泉 智通 ¹ , 川原 善浩 ¹ , Gabriela Auge ² , 大東 健太郎 ¹ （ ¹ 農研機構, ² CONICET/University of Buenos Aires）
10:15	ベンゾピシクロンとシクロピリモレートの混用による除草効果の相乗的向上 ○倉田 康平 ¹ , 金安 洋典 ¹ , 山崎 明彦 ¹ , 吉野 康佑 ² , 佐伯 聡一 ² （ ¹ 株式会社エス・ディー・エス バイオテック, ² 三井化学アグロ株式会社）		17	草高/条間比を指標としたダイズ畑におけるカロライナツユクサの要防除時期の推定 ○松尾 光弘 ¹ , 栗久 周史 ¹ , 河野 礼紀 ² （ ¹ 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター, ² 大分県農林水産研究指導セ）		31*	赤米遺伝子 <i>Rd</i> と <i>Rc</i> が種子休眠性に与える影響 ○高間 梨央 ¹ , 田中 淳一 ² , 今泉 智通 ¹ （ ¹ 農研機構・植物防疫研究部門, ² 農研機構・作物研究部門）
10:30	新規除草剤シクロピリモレートに関する研究—シクロピリモレート・トリアファモン・ベンゾピシクロン混合剤の特性— ○飯浜 春奈 ¹ , 林 健太郎 ¹ , 吉野 康佑 ¹ , 佐伯 聡一 ¹ , 金安 洋典 ² , 倉田 康平 ² , 山崎 明彦 ² , 能城 こずえ ² （ ¹ 三井化学アグロ株式会社, ² 株式会社エス・ディー・エス バイオテック）		18*	土壌養分条件が帰化アサガオ類の葉齢進展とつる化時期に及ぼす影響 ○星 風吹, 小木首 優紀, 小林 浩幸（宇都宮大・雑草管理教育研究センター）		32	Seed germination responses to temperature and water availability in weedy rice ○Monrawee Fukuda, Toshiyuki Imaizumi, Akira Koarai (Institute for Plant Protection, NARO)
10:45	新規除草剤フルピラウキシフェンベンジルに関する研究（第4報）: 新規自己拡散製剤フルピラウキシフェンベンジル・ペノキスラム・ベンゾピシクロン混合剤の除草特性 ○庭山 翔太 ¹ , 片岡 渉 ² , 尾島 萌木 ¹ , 八島 圭佑 ¹ , 高柳 典和 ³ , 長野 貴男 ³ , 倉田 康平 ³ （ ¹ コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社, ² コルテバ・ジャパン株式会社, ³ 株式会社エス・ディー・エス バイオテック）		19*	外来一年生 <i>Ipomoea</i> 属雑草の国内分布域の変遷 ○前田 香穂, 米田 龍矢, 黒川 俊二（京都大・院・雑草学）		33*	雑草イネの発芽に関わる温度及び土壌水分含有率 ○丸山 翔太 ¹ , 今泉 智通 ² （ ¹ 長野県農業試験場, ² 農研機構植物防疫研究部門）
休憩（5分）							

内野 彰（農研機構 中日本農業研究センター）

11:05	5 *	新規水稲用除草剤ジメスルファゼットの生物活性に関する研究 ○宮崎 隆雄, 藤田 貴之, 石松 純, 古橋 孝将, 佐伯 学, 矢野 哲彦 (日産化学株式会社)	関野 景介 (株式会社エス・ディー・エスバイオテック)	20	イヌホタルイ越冬株と種子発生株からの茎葉部の発生・発達の違い ○徐 錫元, 濱中 康弘 (協友アグリ)	稲垣 栄洋 (静岡大学)	34	メッシュ農業気象データによる雑草イネの葉齢推定 ○渡邊 修 ¹ , 丸山 翔太 ² , 宮原 薫 ² , 青木 政晴 ³ (1信州大学農学部, 2長野県農業試験場, 3長野県農政部農業技術課)	今泉 智通 (農研機構 植物防疫研究部門)
11:20	6 *	水稲移植栽培における湛水処理できる水稲用中後期除草剤によるイボクサ防除効果 ○佐々木 麻衣子 ¹ , 三浦 恒子 ¹ , 青羽 遼 ² , 加藤 雅也 ³ , 三浦 一将 ⁴ (1秋田県農業試験場, 2秋田県農林水産部, 3秋田地域振興局農林部, 4北秋田地域振興局農林部)		21	ヤハズエンドウの主茎および鱗片葉節分枝の成長および種子生産 ○露崎 浩 (秋田県大・生物資源)		35 *	タイヌピエの高精度ゲノム解読からわかる日本国内の遺伝的多様性 ○佐藤 光彦 ¹ , 岩上 哲史 ² , 福西 詩奏 ² , 杉浦 快 ² , 保田 謙太郎 ³ , 磯部 祥子 ¹ , 白澤 健太 ¹ (1かずさDNA研, 2京大・院農, 3秋田県立大)	
11:35	7 *	愛知県の大豆作におけるシハロホップチル抵抗性ノビエに有効な除草剤の検討 ○柏木 啓佑, 伊藤 幸司 (愛知県農業総合試験場)		22 *	ホソバフウリンホオズキ由来の昆虫摂食阻害物質 ○成田 覚, 森本 正則 (近畿大・農)		36	GRAS-Di による日本国内のエノコログサの遺伝的変異の解析 ○大迫 敬義, 長田 貴洋 (京府大・院生命環境科学)	
11:50	8 *	水田畦畔に侵入した特定外来生物オオフサモに対する除草剤の効果 ○古山 千恵, 水戸部 隆太, 金久保 秀輝, 濱村 謙史朗 (植調研究所)					37 *	Investigating the Metabolic Mesosulfuron-Methyl Resistance in <i>Aegilops tauschii</i> Coss. By Transcriptome Sequencing Combined with the Reference Genome ○Weitang Liu ¹ , Dawei Zhang ¹ , Xiangju Li ² , Jinxin Wang ¹ , Hengzhi Wang ¹ (1Shandong Agricultural University, 2Institute of Plant Protection, Chinese Academy of Agricultural Sciences)	
昼休み (1 時間 10 分) / 各種委員会									
13:15 ~ 14:15	ポスター会場 (ロビー) ポスター発表コアタイム								
休憩・移動 (10 分)									
14:25 ~ 15:35	S 会場 (8-103 教室) 特別講演 1: ヨシ群落と人の共生 東 建介・井原 希・岩本 啓己 (雑草学会若手の会) 「早春の琵琶湖畔の植物たち~雑草学会若手の会エクスカーションから~」 寺田 剛史 (滋賀県琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課) 「琵琶湖のヨシ群落の保全」 沖 陽子 (岡山県立大学) 「ヨシ群落との共生が生物多様性を創る」								
休憩 (10 分)									
15:45 ~ 16:20	S 会場 (8-103 教室) 会員総会 学会賞授賞式								
16:20 ~ 17:30	S 会場 (8-103 教室) 受賞者講演								
17:30	1 日目終了								

3月26日(日)午前							
8:30 龍谷大学瀬田キャンパス8号館ロビー 受付							
A会場(8-102教室)		座長	B会場(8-B102教室)		座長	C会場(8-B103教室)	
9:30	9	井原 希 (農研機構 植物防疫研究部門)	23	柑橘園での草生栽培の経過 ○岩本 治 (マルコ農園)	三浦 恒子 (秋田県農業試験場)	38*	ヒノキの新鮮葉に含まれるアレロパシー候補物質の探索 ○毛利 薫平 ¹ , 岩崎 有紘 ² , 末永 聖武 ² , 加藤 尚 ¹ (香川大・院農学, ² 慶応義塾大・理工)
9:45	10*		24	有機茶園における除草方法の違いが雑草植生に及ぼす影響 ○稲垣 栄洋, 岩瀬 結子 (静岡大学)		39	日本と世界のダイズコアコレクシジョンの栽培とアレロパシー活性の測定 ○藤井 義晴 ¹ , 海田 るみ ¹ , 前田 浩子 ¹ , 本林 隆 ¹ , 櫻井 望 ² , 山崎 真一 ³ , 青木 裕一 ³ , 杉山 暁史 ⁴ (東京農工大, ² 国立遺伝学研究所, ³ 東北大学, ⁴ 京都大学)
10:00	11		25	弥生時代後期水田遺構「登呂遺跡」の実験復元水田における耕起の有無が雑草植生に及ぼす影響 ○稲垣 栄洋 ¹ , 稲子 莉奈 ¹ , 西川 浩二 ¹ , 篠原 和夫 ¹ , 梶山 倫裕 ² (静岡大学, ² 静岡市立登呂博物館)		40	ヘアリーベッチのアレロパシーとアレロケミカルの同定, および雑草管理への利用 ○藤井 義晴 (東京農工大)
10:15	12		26	水田におけるドジョウの生息が雑草の発生ならびに土壌表層環境に及ぼす影響 ○露崎 浩 ¹ , 樋熊 未来 ² (秋田県大・生物資源, ² 大湯村在住)		41	ディッシュパック法による精油の揮発性物質の濃度が植物生育に及ぼす影響の検定 ○鈴木 陽子 ^{1,2} , 本林 隆 ² , 藤井 義晴 ² (アロマティッカル株式会社, ² 東京農工大)
休憩(5分)							
10:35	13*	市原 実 (静岡県農林技術研究所 茶業研究センター)	27	輸出港湾埠頭にて輸出用中古乗用車に付着する雑草種子の種組成と季節変動 ○浅井 元朗 ¹ , 好野 奈美子 ¹ , 木幡 裕介 ¹ , トレットアウェイアロン ² , 浅古 亮 ² (農研機構・植防研, ² JEVIC)	渡邊 修 (信州大学)	42	ROS マーカー測定装置による雑草のP700酸化システムの測定とアレロパシー活性の関係, および光合成阻害活性を持つ天然物の検索 ○藤井 義晴 ¹ , 早乙女 孝行 ² , 竹下 勇輝 ² , 杉山 暁史 ³ , 三宅 親弘 ⁴ (東京農工大, ² 分光計器(株), ³ 京都大学, ⁴ 神戸大学)
10:50	14		28	水田多年生雑草、雑種サヤカグサ(仮称)の萌芽苗条、小穂および根茎形成の特徴 ○森田 弘彦 ¹ , 青木 政晴 ² , 土屋 学 ³ , 濱村 謙史朗 ⁴ , 渡邊 寛明 ⁴ , 酒井 長雄 ⁴ , 保田 謙太郎 ⁵ (元公財日本植物調節剤研究協会, ² 長野県農政部, ³ 長野県農試, ⁴ 公財日本植物調節剤研究協会, ⁵ 秋田県立大学)		43	雑草管理に適した多年生被覆植物の選抜とヤブランに含まれるアゼチジン-2-カルボン酸のアレロケミカルとしての評価 ○前田 浩子 ¹ , 奥村 恒, 中村 りり, 野村 卓史, 藤井 義晴 (東京農工大)
11:05	15		29	水田多年生雑草、雑種サヤカグサ(仮称)の生育地と両親種の穎果の形態 ○森田 弘彦 ¹ , 青木 政晴 ² , 土屋 学 ³ , 濱村 謙史朗 ⁴ , 渡邊 寛明 ⁴ , 酒井 長雄 ⁴ , 保田 謙太郎 ⁵ (元公財日本植物調節剤研究協会, ² 長野県農政部, ³ 長野県農試, ⁴ 公財日本植物調節剤研究協会, ⁵ 秋田県立大学)		44	Evaluation of Allelopathic Plants by Sandwich Method and Dish Pack Method from Turkish Plants ○Tugba Gonca Isin Ozkan, Yoshiharu Fujii (Tokyo University of Agriculture and Technology, International Environmental and Agricultural Sciences)
休憩・移動(10分)							

春原 由香里 (筑波大学)

松尾 光弘 (宮崎大学)

11:30 ~ 12:30	S会場（8-103教室）JCPA 農業工業会 協賛セミナー 廣岡 卓（JCPA 農業工業会 事務局長） 「食料安定供給における作物保護の重要性～食料生産を取り巻く状況と作物保護産業の取組～」						
昼休み（1時間）／各種委員会							
3月26日（日）午後							
	A会場（C3棟1階103教室）	座長	B会場（C3棟1階102教室）	座長	C会場（C3棟1階101教室）	座長	
13:30 ~ 14:30	S会場（8-103教室）特別講演2：光応答性結晶で作成するバイオミメティック表面 内田 欣吾（龍谷大学 先端理工学部 応用化学課程）						
休憩（10分）							
14:40 ~ 16:10	S会場（8-103教室）ミニシンポジウム 技術士（農業部門・植物保護）を知ろう！（2023） オーガナイザー：山田 晋（東京農業大農）・内野 彰（農研機構 中日本農業研究センター） 1. 濱本 宏（法政大 生命）「技術士制度の紹介と関連 5学会における取り組み活動」 2. 浅井 元朗（農研機構植物防疫研）「技術士（農業部門・植物保護）と雑草防除」 3. 富家 和典（竜王町 農業 振興課）「技術士・植物医師取得の動機と取得後の現場活動」 4. 野村 研（神奈川県 農業技術センター）「神奈川県における植物防疫の現状と技術士資格について」						
16:10	2日目終了						

ポスター発表 演題・発表者(説明者)一覧

※発表者に○を付しています。

※講演番号の下に*が付された発表は、ベストポスター賞の選考対象(若手による発表)です。

コアタイム 3月25日(土) 13:15~14:15	
P01 *	有機栽培水田における雑草の空間分布特性の推移 ○岩本 啓己 ¹ , 渡邊 修 ² , 井上 高宏 ³ (¹ 無所属, ² 信大・農, ³ (株)田んぼの天使)
P02	水稲栽培環境の違いがオモダカの個体群動態に及ぼす影響 ○黒川 俊二, 小西 智大(京大・院農学)
P03	外来系統リードカナリーグラスおよびその在来系統クサヨシ (<i>Phalaris arundinacea</i> L.)の茨城県とその周辺における分布 と遺伝的集団構造 ○吉村 泰幸 ¹ , 江川 知花 ¹ , 植田 夏実 ² , 山本 哲史 ¹ , 芝池 博 幸 ¹ (¹ 農研機構農業環境研究部門, ² 農研機構植物防疫研 究部門)
P04 *	ダイズ圃場のマルバルコウ埋土種子は耕起とマルチ被覆に よる加温で減少する ○浅見 秀則 ^{1,2} , 石岡 徹 ¹ (¹ 農研機構・西日本農業研究セン ター, ² 農研機構・植物防疫研究部門)
P05	サヤヌカグサとエゾノサヤヌカグサの雑種 (<i>Leersia oryzoides</i> x <i>sayanuka</i>) について ○保田 謙太郎 ¹ , 青木 政晴 ² , 土屋 学 ³ , 濱村 謙史朗 ⁴ , 渡邊 寛明 ⁴ , 酒井 長雄 ⁴ , 森田 弘彦 ⁵ (¹ 秋田県立大学, ² 長野県農 政部, ³ 長野県農試, ⁴ 公財日本植物調節剤研究協会, ⁵ (元) 公財日植調協会)
P06	植物の自他識別能力を活用した苗の混植がチガヤの地上 部および地下部の生育に及ぼす影響 ○山田 晋(東農大・農)
P07 *	滋賀県大津市近郊の貧栄養湿地における外来植物駆除の 試み ○角田 藍那, 吉野 茜, 野村 康之, 三浦 励一(龍谷大・農学)
P08	緑地におけるアレチウリの管理と小型UAVによる植生の評価 ○渡邊 修, 吉岡 純楽(信州大学農学部)
P09	侵略的外来種セイバンモロコシの塩ストレス耐性における活 性酸素消去能の関与 崔 澤宇, 今矢 智彬, ○春原 由香里(筑波大学)
P10	UV-C照射がナガエツルノゲイトウに及ぼす影響についての 基礎的研究 ○嶺田 拓也 ¹ , 井原 希 ² , 小荒井 晃 ² , 内藤 敬祐 ³ (¹ 農研機 構・農村工学研究部門, ² 農研機構・植物防疫研究部門, ³ ウ シオ電機(株))
P11 *	外来雑草ヨシススキと在来雑草ススキの種子構造と休眠性 の比較 稲子 莉奈, 金田 直之, 岩瀬 結子, 小林 陽平, ○稲垣 栄洋 (静岡大学)
P12 *	ナプロアニリドと加水分解代謝物によるオーキシン誘導性遺 伝子 <i>AtIAA19</i> と <i>AtDFL1</i> の発現変動 ○亀山 郁, 春原 由香里(筑波大・植物機能制御学研究室)
P13 *	イオン液体を用いた2種の雑草由来の再生セルロース繊維 の作製と特性評価 ○櫻本 明和 ¹ , 岡久 陽子 ² (¹ 京工織大・院工, ² 京工織大・織)
P14 *	シハロホップブチル特異的抵抗性ヒメタイヌビエにおける抵 抗性分子機構の解析 ○石澤 日向 ¹ , 遠藤 真咲 ² , 岩上 哲史 ¹ (¹ 京都大・雑草学研 究室, ² 農研機構・生物機能利用研究部門)

日本雑草学会 第 62 回大会 運営委員会

大会運営委員長	三浦 励一	(龍谷大学 農学部)
大会幹事	黒川 俊二	(京都大学 農学研究科)
運営委員	岩上 哲史	(京都大学 農学研究科)
	下野 嘉子	(京都大学 農学研究科)
	菅沼 丈人	(石原産業株式会社)
	中山 祐一郎	(大阪公立大学 現代システム科学研究科)
	野村 康之	(龍谷大学 食と農の総合研究所)
	堀口 清博	(日本植物調節剤研究協会 滋賀試験地)
	森本 正則	(近畿大学 農学部)
	山田 善彦	(滋賀県農業技術振興センター)
	吉野 康佑	(三井化学アグロ株式会社)
大会関係庶務幹事	松尾 光弘	(宮崎大学 農学部)

協賛 JCPA 農薬工業会